

将来をみすえた次なる挑戦！

～緑の健都、平成から新しい時代へ～

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、平成31年の輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、昨年中は市政各般に深いご理解とご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。



亀山市長 櫻井 義之

昨年は、本市の中長期戦略となる「第2次亀山市総合計画/グリーンプラン2025」を着実に推進するための組織・機構改革を行い、持続的に発展し続けられる都市、『緑の健都 かめやま』の実現に向け、全職員一丸となって取り組みました。

とりわけ、社会福祉協議会との連携のもとCSW(コミュニティソーシャルワーカー)を配置し地域福祉のしくみづくりに努めたほか、新たな公共交通サービスとしての乗合タクシー制度「のりかめさん」の運行を開始いたしました。さらには、民間産業団地「亀山・関テクノヒルズ」への「寿がきや食品株式会社」ほか2社の立地決定と「株式会社豊田自動織機」の進出など実に心強いご縁となりました。

今春開通予定の
新名神高速道路
亀山西ジャンクション周辺 (安坂山町)

さて、間もなく平成の時代が幕を閉じ、新元号による新しい時代を迎えます。本市におきましても来年度、新市施行から15年の節目を迎え、将来をみすえた「次なる挑戦」が求められております。本年春には、待望の新名神高速道路県内本線の開通が控え、さらなる交通拠点性の向上につながるという絶好の好機を活かし、厚みのある産業立地・雇用の創出、子育て世代の支援の拡充などにより、若者の定住を促進させ次なる活力につなげたいと考えております。

また、少子超高齢社会が加速するなか、すべての団塊世代の方々が75歳以上を迎えられる2025年問題に備え、亀山版「地域包括ケアシステム」の充実強化と市民一人ひとりの健康づくりを支える

「健都さぷり・プロジェクト」を展開してまいります。一方、都市の拠点性向上をめざす「JR亀山駅周辺整備事業」におきましては、再開発事業に係る民間事業者の支援をはじめ、新図書館ならびに駅前広場などの整備を着実に進めてまいります。

この一年、総合計画がかかげる『緑の健都 かめやま』の具現化に向け、「開かれた市政」を基本理念に「市民力・地域力が輝くまちづくり」を進めてまいりますので、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年が市民の皆様にとりまして、幸多く明るい年となりますことを心から祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

